

# 第77号

2021年(令和3年)8月

(P—2) 運営委員会からのお知らせ:探訪「長浜検疫所の遺構を訪ねる」

(P-3) 第 1 回学習会「120 年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所」

(P-10) 第2回学習会「伊勢から北条へ―関東管領北条氏の誕生」



#### 運営委員会からのお知らせ

2 探訪「長浜検疫所の遺構を訪ねる」 探訪実行委員会

#### 学習会

- 3 第 1 回学習会 「120 年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ 野口英世と長浜検疫所」
- 10 第2回学習会 「伊勢から北条へ―関東管領北条氏の誕生」 分科会からの便り
- 16 「寺社を巡る会」活動記録

- 17「古文書を読む会」
- 19「ふれあいの道歩こう会」実施概要 NO33 代表 柴崎 幸治
- 21「懐かしの映画を観る会」 代表 鶴岡 重典 22「浮雲俳句会」抄録 NO53 代表 太田 耕蔵 27「パソコンを使いこなす会」実施報告 NO5 歴史研究
- 31「江戸時代の五街道を行く」(14) 「古文書を読む会」代表 真田 雅行 36 行事予定(9月~11月)



# 金沢区生涯学習"わ"の会

ホームページ:http://kanazawa-wanokai.in.coocan.jp/ メー ル:yokohama kanazawa.wanokai@gmail.com

## 2021年度 探訪 (第6回学習会) のお知らせ 『長浜検疫所の遺構を訪ねる』 <sub>実施日:10/8(金)</sub>

秋の探訪のご案内です。

昨年度は 残念ながら中止となってしまいましたが、今年度は 以下の要領で実施しますので、 多数のご参加をお待ちしています。

なお、探訪先は 第1回学習会で紹介された「長浜検疫所」の関連施設(遺構)です。

## 『実施要領』

1. 探訪地 :長浜ホール・旧細菌検査室

(NPO 法人 野口英世よこはま顕彰会の案内)

2. 日 時 : 10月8日(金) 10時00分~14時00分 小雨決行

荒天等で中止する場合は当日朝6時45分までに、電話連絡

するとともに"わ"の会ホームページに掲載します。

3. 集合場所:長浜ホール(京急線「能見台」下車 徒歩 15 分

シーサイドライン「幸浦」下車 徒歩 15分)

4. 受付開始: 9時30分

5. 持ち物 : 名札(着用)、弁当・飲料、雨具

6. 探訪内容:

10:00~12:00 長浜検疫所の概要と遺構などの紹介(ホール)

12:00~13:00 昼食(多目的ルーム・会議室)

旧1号停留所に残されたレコードの鑑賞(ホール)

13:00~14:00 見学(長浜ホール・旧細菌検査室)

昼食と見学は 班分けをして行います。(昼食 2班、見学 5班)

7. 申込期限:9月24日(金)

不明な点は下記にご連絡ください

田野実裕之 Tel 045-771-0020 メールアドレス c-chopin@xd6.so-net.ne.jp

斧原 良一 Tel 045-788-2847 メールアドレス oshi.onohara@nifty.com

共催 横浜市長浜ホール NPO 法人 野口英世よこはま顕彰会

#### 第1回学習会

『120年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所』 編集委員 千々木 雅也

日時:2021年5月9日(日)

11:00~12:30

場所:横浜市立大学 カメリアホール

講師: 金間 誠一 氏

NPO法人 野口英世よこはま顕彰会

理事 事務局長

"わ"の会 会員



#### 【概要】

長浜検疫所のあらまし、海港検疫に関する法令等、野口英世の赴任とペスト騒動及び現存する旧一号停留 所(検疫資料館)の保存について、豊富な資料と写真・図を使用して説明された。

#### 1 長浜検疫所のあらまし

1858年(安政5年)江戸幕府は米・蘭・露・英・仏と修好通商条約を締結した。これは安政の不平等条約と呼ばれるものであったが、明治政府により継承された。その後、相次ぐコレラの大流行に対応するため、規則類を制定して外国船にも海港検疫を実施しようとしたが、英仏公使の賛成を得られず、外国人には適用できなかった。

1894年(明治27年)、不平等を解消する新通商条約を諸外国と締結した。 その5年後から外国船にも平等に検疫を実施できることになった。

このため、欧米諸国に引けを取らない水準での検疫の実施を目指し、法制度・設備・人材の準備を開始した。

1895年(明治28年)日本の玄関ロ「横浜港」における検疫を欧米の水準で確実に実施するため、横須賀にあった長浦消毒所を廃止し、新しく最新鋭で大規模な検疫措置施設「長浜検疫所」を金沢村大字柴に建設することになった。

長浜検疫所には防波堤に囲まれた2本の桟橋、事務所、浴室、停留所(検疫時乗船者の休憩・宿泊場所)、避病院、火葬場などの建物が造られた。

これらの建物は、大正12年の関東大震災で壊滅的な被害を受けたが、翌年にはほとんどが原形に復旧された。

### 2 海港検疫に関する法令等の整備

海港検疫法、海港検疫法施行規則、船舶検疫手順、海港検疫官制、海港検疫所職員制

服規定など、海港検疫法に関する法令等が次のとおり整備された。

- 海港検疫法 1899年(明治32年)2月公布・8月施行
  - ① 外国諸港及び台湾より来航する船舶が対象。検疫を実施する海港と伝染病は 内務大臣が指定
  - ② 検疫を受け、許可証を得るまでは入港、陸地又は他船との交通、船客・乗組 員の上陸、物件の陸揚げを禁ずる。
  - ③ 乗組員・船客は、検疫官吏の検疫検査業務に従うこと
  - ④ 現に伝染病の死者がある、航海中に伝染病の死者がある、伝染病流行地を発し、 又はその地を経て来航、伝染病に汚染した船舶と交通したものは所定の検疫 信号を掲げること
  - ⑤ 伝染病の死者あるいは患者があるときは、定める期間の停船、死者の処分の 指示、船舶その他の物件の消毒、船客・乗組員の検疫所への移転を実施
  - ⑥ 伝染病の疑似患者あるときは2日以内の停船を命じる。
  - ⑦ 消毒費は船主から、検疫所に移転した乗組員の食費などは船長、船客は本人から徴収
- 〇 海港検疫法施行規則 明治32年7月
  - ① 検疫施行の海港:横浜港、神戸港、長崎港、ロノ津港
  - ② 消毒を要する場合の回航先:横浜港→長浜、ロノ津港→女神
  - ③ 検疫対象:コレラ、痘瘡、しょう紅熱、ペスト、黄熱
  - ④ 停船期間:ペスト 7日間 コレラ・黄熱 5日間(消毒完了後)
  - ⑤ 患者及び疑似患者:検疫所の隔離室に入れる。費用は本人又は船主負担
  - ⑥ 死体は火葬
  - ⑦ 消毒費を徴収
  - ⑧ 検疫所での食費、患者・死者に関わる費用を徴収
- 〇 船舶検疫手順 明治32年7月
  - ① 万国船舶信号で番船又は見張り所に接近させ、停船を命じる。
  - ② 船長に発航地・寄港地・伝染病患者の有無などを聞く。
  - ③ 船長に申告書を渡し、記入・提出を求める。
  - ④ 乗船者全員と船室の検査を行う。
  - ⑤ 伝染病での死者又は患者がありなどの場合は消毒を行い、停船を命じる。
  - ⑥ ペスト、コレラ、黄熱患者と疑似患者は検疫所に移転
  - ⑦ 船室、甲板、トイレは石炭酸水又は石灰乳で処置し、海水で洗浄
  - ⊗ 船底汚水は港外で排除し、海水で洗浄
  - ⑨ 船内の器具、敷物などは石炭酸水で処置又は蒸気消毒
  - ⑩ 寝具・衣類は蒸気消毒、石炭酸水処置、又は日光消毒、あるいは焼却
  - ⑪ 食器は煮沸消毒又は木炭汁処理
  - ② 飲料水は石灰乳処理又は熱蒸気消毒
  - ③ 船客・乗組員が停留中は巡回と健康診断を実施
- 〇 海港検疫官制 明治32年4月
  - ① 横浜・神戸・長崎に海港検疫所が、ロノ津に海港検疫支所が置かれた。
  - ② 職員は所長1人、検疫官1人、検疫医官1人、検疫官補3人、検疫医官補

2人、調剤手1人、書記1人が配置された。

○ 海港検疫所職員制服規定 明治32年7月帽子、帽章、上着、階級章、袴、外套などが制定された。

これらのことにより我が国の海港検疫の体制、技術、人材等がようやく整備された。

#### 3 野口英世の赴任とペスト騒動

- 〇 明治32年6月21日 野口英世が北里柴三郎の推薦で横浜海港検疫所の検疫医官補に任命されて<u>赴任</u>
- 6月22日 横浜海港検疫所の体制 所長:飯尾次郎、検疫医官:星野乙一郎、 検疫医官補:野口英世・福田鉄蔵
  - ●午後4時20分 亜米利加丸(6,069トン)が本牧沖に到着
  - ●星野医官らが検疫のために乗船、事務長は病人の存在を告げ、診察を依頼
  - ●診察の結果病人(中国人ボーイ)はペスト疑似患者と判定、採血を実施、当日非番の野口と福田医官補を招集
  - ●事務長は更に<u>も</u>う1人の病人の存在を告げ、診察を依頼、診察すると病人(日本人水夫)の兆候はペストを疑うものであったので、採血
  - ●野口は2件の血液を細菌検査室で調べ、ペスト菌を発見
- 〇 6月23日
  - ●午前〇時過ぎ 検疫官、検疫医官らは長浜に出張、船舶、乗員乗客の消毒を準備
  - ●午前5時20分 亜米利加丸は長浜沖4キロに回航、停泊
  - ●午前9時5分 乗組員、乗客、本船の消毒を開始、午後5時終了、検疫所長は午後5時を起点に7日間の停船を命じる。
  - ●午後6時40分 中国人のボーイ死亡、伝染病研究所の志賀潔が細菌検査室に到着、死体解剖など死因確認
- 〇 6月24日
  - ●午前 新たに日本人と中国人のボーイ2名の患者発見、避病院に移送・手当を実施、後にペストでないことが判明
  - ●午後1時 死亡の遺体を検疫所の火葬場に移送、午後6時から火葬
  - ●午後4時 2回目の消毒開始
- 〇 7月1日

亜米利加丸は7日遅れでホノルルに向けて出航

#### 4 ペスト騒動が意味するもの

当時、ペストは世界中で大流行、いったん広がると都市を滅ぼす恐ろしい伝染病であった。 横浜でのペスト菌発見は大ニュース、新聞紙上で大きく取り上げられた。 騒動は「海港検疫法」が施行になる8月より前に発生。関連法令としては4月に「海港検疫官制」が発令されたのみ、「海港検疫法施行規則」、「船舶検疫手順」、「海港検疫所職員の服制規程」は、騒動が収まった7月の施行であった。

しかし、検疫が粛々と実施され、ペスト菌の検出、患者の隔離、船客・乗組員・本船 の消毒が行われ、ペストの横浜上陸を阻止することができた。

この騒動は、ペストから横浜・東京を救い、検疫に関する日本の法律・施設・技術・

- 5 旧一号停留所(検疫資料館)の保存について
  - 1952年(昭和27年) 横浜検疫所庁舎が横浜市中区海岸通に移転、長浜の旧 庁舎は「横浜検疫所長浜措置場」として存続
  - 1963年(昭和38年) 以降、患者・疑似患者の収容実績なし。
  - 〇 1970年(昭和45年) 検疫実施方法が変更となり、「長浜措置場」の役割が変化し、旧施設の大部分が放置されるようになる。
  - 〇 1971年(昭和46年) 金沢地先埋立事業により、前面の埋立が始まった。 海面埋立、建物取り潰し、敷地(7割)処分、処分地の宅地化・道路化で景観は大きく変化した。
  - 現在、旧検疫所敷地の内外に残るものは次のとおり。
    - ① 細菌検査室(長浜野口記念公園内)常時公開
    - ② 旧一号停留所(検疫資料館)常時は非公開
    - ③ 防波堤で囲まれた港(野鳥観察園内の汽水池)常時公開
    - ④ 事務所(長浜ホール)常時公開
  - 敷地内にある「輸入食品検疫検査センター」が令和4年に合同庁舎(みなとみらい21地区)へ移転する計画が進行中、すると旧一号停留所を管理する大家が不在に。そこで、旧一号停留所(検疫資料館)に保管されている検疫実務記録(検疫船簿)、医療・消毒器具などの貴重な収蔵資料が減失や散逸することなく、登録有形文化財に指定されている建物と共に永久保存されることが強く望まれる。
  - 「野口英世よこはま顕彰会」では、所管の厚生労働大臣及び地元の横浜市長宛 てに要望書を提出するために、署名を集めています。 皆さまのご協力をよろしくお願いします。



#### 2021 年度第 1 回学習会アンケート集計

"わ"の会運営委員会(2021.5.9 晴れ)

#### 「『120年前、横浜のペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所』 講師:金間 誠一氏

ш		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	合計	アンケート(提出率%)
出席者	男	45	8	53(64.6)	2	55	
	女	11	0	11(47.8)	1	12	46(76.3)
=	t	56	8	64(55.7)	3	67	46/59

#### ①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
33名	13名	0名	0名	0名

- ・長浜検疫所の様子がよく分かりました。
- ・令和2年~3年の現代のコロナ禍と比べて明治時代のペスト、コレラ、黄熱病に対する政府医療機関の対応の苦労が良く解った。
- 新型コロナウイルス禍の感染拡大の影響の中で、120年前、横浜ペスト禍を未然に防いだ野口英世と長浜検疫所の講演は、身に締まる思いで、昨今のマッチした内容であった。
- 現在の日本の状況と照らし合わすことができ、興味深く拝聴できました。明治の頃には詳細な検疫 手順が作成されていたのに、今それが反映されていないのが残念です。スライドも見やすく、説明 もわかりやすかったです。
- ・湾に、2つの"サンバシ"には、小さな灯台があり赤灯台、青灯台と言っていました。小・中学の頃の無断侵入が大変なつかしく、ありがとうございます。
- 長浜検疫所の歴史がわかった。特に「ペスト騒動」について初めて知る事が多かった。
- 顕彰会メンバーも知らなかった話をしていただいた。
- 意外に会えなかった歴史がよく理解できた。スライド多図の説明で分かり易かった。絶対に原形のまま保存すべき文化遺産である。
- 身近にありながら、検疫所の詳しい内容がわからなかったが、丁寧な説明で良く解った。
- 横浜に残る文化的施設であり、後世に残すべきと思った。ありがとうございました。
- ・時期的にタイムリーであった。友好通商条約のこと理解でき、もう少し勉強しようと思いました。
- 貴重な資料の印刷物、ありがたく感謝します。よい勉強となりました。文化遺産として多くの人々に知ってほしい内容で子供たちに伝えたいと思います。
- ・時代背景を踏まえリアル・詳細であった。今まで知らなかった内容が多かった。
- 野口英世の話の切り口が今までの話と違って興味あった。
- 会員の中でこれほど勉強していることにオドロキ。
- ・富岡東地区に在住していて、長浜公園は毎朝のウォーキングコースです。今も当時の風景が所々残っている写真を拝見し、非常に興味があった。ぜひこれらの風景写真は保存しておいて欲しいです。
- ・日本を守ってきた検疫の始まる前からの歴史を教えていただき、苦難の様子を知ることができました。検疫の原点が金沢区に残っていることに驚き、全国に唯一の実体のある歴史を何としても残すべきとよくわかりました。
- 日本の検疫制度の歴史が分かりました。一号停留所が保存されて欲しい。
- ・貴重なお話ありがとうございました。コロナ禍の今タイムリーですね。保存活動などのご尽力感銘

受けました。資料やご説明大変わかりやすかったです。

- 豊富な写真と詳細な日記的レジメにより、大変良く理解出来た。コロナ感染の水際作戦及びその後に十分生かされなかったのが残念である。
- 現在コロナ騒動から考えても、明治時代の検疫ではすでに発症者と非発症者で隔離が明確にできていた事は新鮮であった。その検疫所(長浜)での野口英世がペストに対してペスト菌を発見した事がその後のアメリカでの研究の基となったのであろう。ということでよく理解できた。
- 60 数年前小学校の遠足で長浜検疫所を見学したことをなつかしく思い出しました。また、当時の施設特に庭園のすばらしさのカルチャーショックを受けたかとを良くおぼえております。
- ・能見台に住んでおりますが、近くにこのような施設があり、明治のころから人々が感染症から身を 守るために行ってきたことをはじめて知ることができました。
- 現在の日本とてらしあわせ、水際で病気・伝染病をとめることの重要性を歴史とデータを元に学習できました。

#### ②金間講師に希望する講演テーマについて

- ・旧長濱検疫所一号停留所関係が「みなとみらい 21 地区」に移転の計画進行が持ち上がっている。その後、この話題が将来どのようになったか、確定した時点でぜひお話を伺いたい。
- 一号停留所の資料調査などについても紹介を。
- ・顕彰会の活動状況
- これから、一号停留棟の保存運動が大々的に行われるのでその経過結論などを報告願いたい。
- ・細菌検査室、復元迄のお話
- わの会の歴史をまとめてお話いただきたい。
- どの方面が専門か、知りません。
- 仲間にこう云う方がおられるなんてすばらしい。

大曾根

・保存活動の大切さ、大変さに加えて、次の世代に活動を継続させていく仕組みづくり等も教えて頂けたらありがたいです。

#### ③学習会運営評価

A.たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
26 名	18名	1 名	0名

※チェック無し:1名

- コロナ感染対応しながら、会場確保に敬意を表します。
- コロナ禍のなかご苦労様です。
- 資料のまとめご苦労様でした。
- ・地域に住んでいる我々として大事な講演であった。機会を設けていただいてよかった。特にコロナが流行している時期なので良い時間であった。
- むだなくうんざりしませんでした。コロナの時、大変タイムリーな企画でしたすばらしい。
- ・金沢区というより、日本のひいては世界の感染症との戦いに焦点をあてられ海外の伝染病から自分の国を守ることがいかに難しく大事なことか。実にタイムリーなご企画と感心いたしました。
- ・感染対策、会場確保などのご準備お疲れさまでした。ありがとうございました。

#### ④ "わ"の会について

- 大切な資料をいつも準備して下さりありがとうございます。
- ・コロナ禍の中、大変な運営ご苦労かと存じます。 感謝致しております。
- 若い人々の入会を望みます。
- ・安全な運営の下、活動の継続を願っています。
- 保存運動を支援して、明治の遺産を残しましょう!
- ・はじめて参加させて頂きました。久々に学生時代に戻ったようでした。色々学んで頭を活性化していきたいです。よろしくお願いします。
- コロナの影響で運営、会場の確保や資金面など大変だと思います。お手伝いできることありました ら、ご連絡下さい。

#### 運営委員代表の意見・感想

- 「まん延防止等重点措置」が発令されている中での開催でしたが、市大及び皆様のご協力により総会及び第 1 回学習会を無事終了できほっとしております。
- 今回も、恒例となっている会員による講演で、NPO 法人 野口英世よこはま顕彰会 理事の金間誠 一氏にお願いしました。
- ・コロナ禍の中、日本の伝染病と検疫の歴史(法体制も含む)、そして地元金沢区の長濱検疫所の役割と野口英世のペスト菌発見に至る経緯など詳しく説明いただきました。
- ・スライド画像による、すばらしい講演で大変わかりやすく検疫・伝染病などの歴史について今まで 以上の理解を深めることができました。
- ・明治 32 年には、海外からの外国船の検疫と隔離施設などのシステムと、その対応がしっかり行われていたことの詳細を知ることができました。残念なことは、このことがうまく引き継がれていたら、今回のコロナ対応おいても、もう少しいい方向に向かっていたのではと思わます。
- 長浜検疫所はあと2年でみなとみらいに移転が決定しており、それに合わせて明治28年に建設された旧長濱検疫所一号停留所(検疫資料館)の保存はまだはっきりしていません。是非歴史遺産としてこの地に保存されるよう協力していくつもりです。
- 10 月の探訪では今回の講演に合わせて、すでに移転されている野口英世が検査に従事した細菌検査室と長浜ホール(旧事務所)の見学と追加講演などを予定しております。

最後に、NPO 法人 野口英世よこは顕彰会の皆様のご協力にお礼申し上げます。

## 第2回学習会

【「伊勢」から「北条」へ】(関東管領北条氏の誕生) 編集委員 熊谷信雄

開催日:2021年6月12日(土)

13:30~16:30

会場:横浜市立大学金沢キャンパス

講師:東京大学 文学部

研究員 谷口雄太 氏

#### 【概略】

今回の講演内容は、「伊勢」から「北条」へ(関東管領北条氏の誕生)と言う内容です。前半は戦国時代を理解する上で、室町時代の知識は不可欠であり関東の最重点地点(政治・経済・宗教の中心地)である「鎌倉」の統治状況や、重要視された鎌倉府の鎌倉公方とその補佐役関東管領の構造を分かり易く説明され、後半は本題の北条氏誕生、関東管領「北条氏」と「上杉氏」の勢力争いを説明された。複雑な関東の戦国時代を明確に説明された。

#### 【鎌倉府】

室町幕府は関東を統治するために鎌倉府と呼ばれる 政庁を設置しました。その前身となったのは、建武 政権が設置した鎌倉将軍府です。1336年(延元元 年)足利尊氏が京都に幕府を開く。以後、子息・足 利千寿王(足利義詮)を鎌倉に置き東国を治める。 1349年(貞和5年)足利尊氏が子息(足利義詮の 弟)足利基氏を鎌倉公方とし義詮の後任とする。以 来基氏の子孫が鎌倉府の長となる。足利氏の政権構 想は東は鎌倉府、西は室町幕府がそれぞれ支配する2 局統治体制となる。室町幕府は関東を直接支配せ ず、間接統治の下支配を委任する。

- → 幕府の直接支配圏 (近畿・中部・中国・四国)
- …室町殿御分国
  - →幕府の間接支配圏 (関東・東北・九州)

#### 【足利氏の東国支配】(鎌倉府の統治構造)

関東支配を任されたのは「公方」と「管領」である。 NO1は鎌倉公方と呼ばれ、足利基氏氏の子孫が世襲している。管轄エリアは東日本12か国(関東八か国・伊豆・甲斐・出羽・陸奥)。

NO2は鎌倉公方の補佐役の関東管領である。管領は 上杉氏就任。公方足利氏と管領上杉氏が連携して東国 を統治する。

#### 【関東における戦国時代開幕】

1454年~1482年の28年間に及ぶ享徳の乱が勃発します。鎌倉府は崩壊し、公方は鎌倉を脱し古河へ移り古河公方となる。管領派上杉氏は京都から将軍兄弟を迎えて伊豆国堀越に留まり御所を設けて堀越公方とする。関東を東西に二分して戦い続けます。1482年古河公方と関東管領は和睦して公方足利氏・

管領上杉氏の体制が再建される。(1487年~1505年)享徳の乱後、上杉氏内部で主導権争いが勃発し50年に亘る戦乱で関東は荒廃します。

【「伊勢」から「北条」へ】 (関東管領北条氏の誕生)

伊勢氏は室町幕府政所長官の一族で、幕命(国境警備問題を解決し今川氏を補佐する)を受け駿河に下向し1493年伊豆を侵攻して堀越公方を打倒した。1509年から上杉氏と対立。関東侵攻を本格化した。関東で知られていない伊勢氏は上杉氏(関東管領NO2)と対抗上、政治的・意識的に鎌倉時代の執権北条氏とのつながりを演出する("後北条氏"とも言う)為、1523年「伊勢」から「北条」へ名字を改める。戦国時代の北条氏は鎌倉時代の北条氏と血縁関係にはない。

【関東管領·北条氏VS上杉氏】

○1524年~1552年(前半戦) 北条氏勝利 1524年北条氏、上杉氏から江戸城を奪取。

1532年北条氏、鶴岡八幡宮を再建。1546年武蔵河 越合戦にて北条氏勝利。1552年上杉氏、越後へ亡命 (公方足利氏・管領北条氏の確立)

〇1560年~ (後半戦) 上杉氏勝利

1560年越後長尾氏、上杉氏(関東管領)を奉じて関東へ侵攻。1561年長尾氏(景虎)関東を制圧し、小田原城を包囲。帰路、鶴岡八幡宮で上杉氏(関東管領)からその地位を譲られ(長尾景虎⇒上杉政虎。のちの謙信)、新たな公方として、足利藤氏を擁立する(公方足利氏・管領上杉氏の復活)室町期以来の伝統(公方足利氏・管領○○氏、在鎌倉)を理想とする関東戦国大名の構図が継続されてきた。

#### 【感想】

初めて関東公方や、鎌倉公方を補佐する関東管領、その他の関連事項や一連の歴史などを知った時は、少なからず衝撃を受けました。多分誰もが名前くらいは聞いた事が有るであろう「征夷大将軍」「執権」「管領」「大老」「老中」「奉行」などの、武家政権に於けるメジャーな役職に比べると、確かに「鎌倉公方」や「関東管領」はマイナーな役職ですが、それでも、関東公方や関東管領とは結局いかなるものであったのかという事を理解していないと、日本の中世史をすっきり理解する事はほぼ不可能であろうと感じました。





#### 2021 年度第2回学習会アンケート集計

"わ"の会運営委員会(2021.6.12 晴れ)

#### 【「伊勢」から「北条」へ】 -関東管領北条氏の誕生- 講師:谷口 雄太氏

出		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	合計	アンケート(提出率%)
席者	男	48	8	56(68.3)	2	58	
	女	14	0	14(60.9)	0	14	46(76.3)
言	†	62	8	70(66.7)	2	72	46/59

#### ①講演内容評価

A. たいへん良かっ た	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
34 名	8名	3名	0名	1名

- 北条早雲が関東に入った事などよく分かり大変面白かったです。
- ・室町時代の姿にもどしたい気持ちが、どの武将にもあったのがよくわかりました。「西」は「東」 に手を出せないシステムがわかってよかったです。
- 伊勢氏の駿河下向は幕命だったのか、堀越公方への攻撃も幕命だったのか、名字の変更よく分かりました。
- 言葉がはっきりしていてとても聞きやすかった。
- 後北条の誕生、勢力拡大について理解できていなかったが、本日のお話でようやく理解出来た。興味深い話であった。
- 説明が、明確でよかった。
- ・小田原北条氏の出自が良く分かった。
- 話も聞きやすく、細かい時代背景や、その時の情勢なども理解出来た。さらにこまかく知りたいとの意欲湧く内容でした。
- 資料が分かり易くまとめてあり良かった。説明の仕方がうまく良く分かった。
- ・享徳の乱の前後の公方派と管領の和睦と堀越公方を含めた関係を知ることができた。他国の伊勢氏が関東に来て支配するのをどう思うかと考えて、鎌倉時代ナンバー2であり慣れている北条になったのが分かった。
- ・内容がわかりやすかった。(伊勢氏から北条氏になった話おもしろかったです)
- 関東管領の存在、流れが分かった。
- ・谷口先生のお話が大変わかりやすかったです。室町時代の公方一管領の構図が後々までベースとなること、享徳の乱、北条氏誕生といったことを知ることができ、来年の大河ドラマが楽しみになってきました。
- ・論理明解、わかりやすかった。
- 難しい時代と判り易く解説頂いたこと、享徳の乱の前後の歴史は変転激しく脳に落ちづらい。
- 複雑な関東戦国時代をわかりやすくご講義頂きありがとうございました。関東管領をめぐる果てしない戦いが非常に面白かったです。
- 資料、話の内容、話し方どれもとてもわかりやすかった。
- ・室町期の連続する東国の話や、公方、管領の関係が良く理解できた。レジュメも簡潔に良く整理さ

れ分かりやすい。

- ・公方と管領の違いが良く理解できた。公方と管領の仕事の違いは何か等についてもう少し説明が欲しかった。
- ・資料が明解。伝える声がはっきり聞きやすい。内容が今まで知らされてない事で歴史のおもしろさを学ぶ。
- ・何となく知っていた"公方""管領"の事が、よ~く分かりました。 日本の西・東の地図上での説明も区分がよく分かりました。北条の名へ改めた内容が初耳で、おもしろい話でした。足利氏のその後の存在(伝説的な話)も初耳でした。
- ・弁舌さわやか熱い語り。内容も明瞭、関東の初期戦国時代の姿が良く理解できた。享徳の乱の原因と終了、キーパーソンとしての太田道灌の暗殺死による管領上杉家の内紛分裂による関東(西関東)にスキマができたことが伊勢氏(北条氏)の台頭につながった事がよくわかった。
- 説明の繰り返しを多用して、とても理解し易かった。
- •わかりやすかった。後半は、はやすぎたようです(マスク?)。
- 伊勢氏が北条氏を名乗り、関東管領に任命され関東を制覇していく過程が非常によく分かった。今までもやもやしていたものが払拭された、明快な説明が印象的であった。
- 話し方がわかりやすく声も聞きやすい。
- ・足利・上杉・北条・上杉氏の流れをていねいにせつめい。
- ・体系的に講演されわかりやすかったです。
- ・後北条氏の成立過程がよく分かった。
- ・歯切れのよいお話しぶりでとてもわかりやすかった。
- 一から分かる関東管領。レジメの沿っての解説で理解度は上がった。
- 室町時代の鎌倉の役割(京都・鎌倉の二極体制)が理解できた。
- ・噛み砕いた説明で改めて理解が深まった。
- ・北条氏の台頭する時、山内上杉家、扇谷上杉家と三つどもえの戦いだったと記憶している。そのあたりをもう少し詳しく説明して欲しかった。

#### ②谷口講師に希望する講演テーマについて

- 北条氏についてのお話をもっとお聞きしたいです。
- 上杉謙信
- 中世の歴史お願いします。
- 本日講演内容の続編をぜひお願い致します。
- ・鎌倉時代における(金沢地区、六浦地区)の重要性、その貴跡 ありきたりですが
- ・今回は、ざっくり全体像でしたが、何かにフォーカスした内容等、足利氏の中の人物など
- 北条五代で先生がおすすめするトピックスがあれば
- ・関東戦国史 今回のつづき編
- ・足利氏に絞り説明して欲しい。
- 著書にある「〈武家の王〉足利-戦国大名と足利的秩序-」の講演を希望します。

#### ③学習会運営評価

A. たいへん良かっ た	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
24 名	14 名	1名	0名

※チェック無し:7名

- コロナ対策も万全でスタッフの方のご尽力に感謝いたします。
- コロナ禍の中で苦心されて学習会運営に感謝致します。
- ・時間の配分と運営大変良かった
- ・休憩が充分あり、係の配慮を感じました。
- 冷房がききすぎ
- 少々マイク音が大きかった。前半寒かった。
- コロナ禍の折、充分な対策をして開催されたことに感謝。
- ・学習会の運び方は毎度スムーズでした。
- 資料が良くまとまっていた。会場が寒かった。
- いつもながらの行き届いた運営、ご苦労様です。
- 換気等コロナ対策を充分で、進行もスムーズだった。

#### ④ "わ"の会について

- ・いつも有り難うございます。次回はコロナワクチンと重なり残念です。
- コロナ禍の運営ありがとうございました。早く通常な状態に近づくと良いですね。
- ・初めて参加させて頂きました、素敵な「わの会」に感謝です。
- コロナ禍の折、企画運営、感謝します。楽しく学びました。
- ・コロナ禍の中、会の運営ご苦労様です。
- 新型コロナ感染予防対策をして頂き有り難うございました。
- "金沢"に軸足を置いた御講演を心がけて下さる様講師の先生方にもお伝え下さる様に。(多少無理なコジツケになっても・・・・・)

#### 運営委員代表の意見・感想

- ・昨年計画しました谷口雄太氏の【「伊勢」から「北条」へ】関東管領北条氏の誕生は、コロナ禍で 会場を使用できず1年延期していただきました。今回、まん延防止等重点処置の発令の中でした が実施出来てよかったです。
- ・室町時代の統治は西に室町幕府、東に鎌倉府を置いて、鎌倉は東の中心として続いていた。今回の 講演では、前半に関東での仕組み、公方・管領について復習していただいたことにより、後半の講 演の理解がより深められた。
- ・また、公方が何故2人いたのか、管領が何故改名したかの謎が解けたようで、前2回の講演も見直してみたくなった。享徳の乱などで活躍した太田道灌が暗殺されず生きていたらとも思った。
- ・伊勢早雲が素浪人でなく室町幕府政所の長官であったこと。幕命で駿河に下向し伊豆(東国)に侵攻 し、その勢いで関東をも席巻し管領となり北条を名乗ったことなどで理解が深まった。
- ・最後の一行 「室町期以来の伝統(公方足利氏一管領〇〇氏、在鎌倉)を理想とする関東戦国大名の 姿」が、この時代の関東大名と鎌倉の存在を確認出来たような気がする。
- •蛇足ですが、小田原では、「北条五代」を大河ドラマに!の署名運動が起きているようです。

## 『寺社を巡る会』活動記録 令和3年度 第1回~第3回

#### 第1回 金沢八景の道

開催日:令和3年5月6日(木)

コース:平潟湾プロムナード~夕照橋~染王寺~掩体壕(西側)~野島山展望台~野島稲荷神

社~掩体壕 (東側)~旧伊藤博文金沢別邸

上記で計画したが、新型コロナウィルス感染リスク対応にて中止した。

#### 第2回 あじさいの道

開催日:令和3年6月3日(木)

コース:熊野神社~宝蔵院~八景島(あじさい鑑賞)~アメリカン・アンカレッジ記念碑

上記で計画したが、新型コロナウィルス感染リスク対応にて中止した。

#### 第3回 浦鄉観音道

開催日:令和3年7月1日(木)

コース:正光寺~ 自得寺~稲荷谷戸~磨崖五輪塔~観音寺~光竜寺~能永寺~正観寺 ~独園

寺~西南の役勇士の墓(官修墓地)

上記で計画したが、新型コロナウィルス感染リスク対応にて中止した。



	古文書を読む会 学習記録					
	第一学習	幕末志士の手紙				
2021年4月7日 (水) 10:00~	金沢公会堂第一会議室	第一学習 幕末志士の手紙(?) 以下の手紙はいずれも龍馬暗殺(慶応3年(1867)11月15日)の 年春以降のもの ・長崎から姉乙女に出した返事 時代の荒波の中の自分、取り巻きに対する慨嘆などを綴り、又資金不足 を小松帯刀や後藤象二郎が出してくれた事に感謝。 ・お龍宛の手紙 いろは丸衝突事件交渉や後藤の依頼で大坂・京都へ行くので今は忙しい が片付き次第下関のお龍に会いに行くからちょっとの間待ってほしい。 ・京三条から乙女と姪おやべ宛長文(5m)の手紙の一部 土佐藩大坂屋敷の小役人にはあきれてものも言わなかった。坂本家の 養子の清次郎(後に出奔)の頼りなさ思慮の無さには落胆した。 この他乙女の龍馬への誤解に不満を述べる。	12名			
2021年5月13日 (木) 10:00~	金沢公会堂第二会議室	第一学習 幕末志士の手紙®・薩土密約・盟約 ・薩土密約・盟約 土佐の中岡慎太郎の仲介で板垣退助と西郷らが会合し倒幕・徳川家潰滅の 私的な軍事同盟・密約が結ばれたが、翌月竜馬の仲介で後藤象二郎が西郷 らと薩土盟約を結び、大政奉還という平和的手段で徳川家を潰さないで日 本の改革を実現しようとした。 ・船中八策 坂本龍馬が一八六七年六月、土佐藩船の船中で後藤象二郎に示した新しい 日本の方向性、国家体制の要綱八か条からなり、この八策を幕府が実行す れば国運を回復することが出来ると断言した。後藤はこれを自分のアイデ アとして容堂に上申し、土佐藩はこれに基づいて大政奉還論を固めた。	12名			
2021年6月10日 (木) 10:00~	金沢公会堂第二会議室	第一学習 幕末志士の手紙⑨ ・討幕の密勅(天皇の秘密指令) 長州藩主親子と薩摩藩(島津久光親子)に秘密裡に下された「賊臣慶喜を  が戮せよ」との詔書。然しこの文書は律令に定められた手続きがされてい ないので、岩倉具視の画策による偽詔と言われている。 ・討幕の密勅に対する請書 密勅を正親町三条邸で受け取った薩長の藩士たちは、広沢真臣・福田侠平 品川弥二郎・小松帯刀・西郷隆盛・大久保利通の6名による連名で、「討幕 の密勅薩長連衡御請誓書」という共同返答書を、中山忠能・正親町三条実 愛・中御門経之・岩倉具視の4名に宛て共同提出した。この請書の宛先に 岩倉具視の名が記されていることから密書作成に彼が関与していたことが 明白となった。 ・慶喜 大政奉還を建白 政権を朝廷に奉帰し聖断を仰ぎ同心協力、共に皇国を保護仕り、必ず海外 万国と並びたてられるよう慶喜国家に尽くす所存です。政権は朝廷に返す が、今後も自分も関与していく、とのニュアンスがうかがわれる。 ・岩倉具視から大久保利通あての討幕クーデター 三宮は全て安心尽力してくれることになりました。かかる未曾有の重大な 事件ですが、非常ではあっても義にて断固として参内しましょう。 以後の政局は策士岩倉具視と大久保利通を中心に動いていく	14名			

古文書を読む会 学習記録					
第二学習 島原の乱					
2021年4月22日 (木) 9:30~	並木コミュニティハウ ス	第二学習 島原の乱④ ・高来天草の諸民借米訴訟の事 飢饉のため山田右衛門作の米拝借申入れが叶えられたとして諸人が殺到したが取り上げられず、天草では冨岡城代の配慮で年貢米の一部施しがあったものの、郡代と番代の仲が悪く訴訟が叶えられなかったためこれを恨み仕返しをしようと企んだ。 ・天草大矢野村の小左衛門と高来の有馬又兵衛徒党を企てる事二人がキリシタン復興と天の気色到来したとして領主の参勤留守中をねらい一揆の談合を企て、若輩ではあるが才智があり種々神秘行為の出来る益田四郎が棟梁にふさわしいとしこれに同調復帰するものが続出した。	12名		
2021年5月27日 (木) 10:00~	金沢公会堂第二会議室	第二学習 島原の乱⑤ ・益田四郎大矢野江来りし事ニ付湯嶋の事 天草四郎は肥後の国の住人,益田甚兵衛という長崎浪人の四男で、首謀者 談合の結果四郎を大矢野に呼び寄せ一揆の惣大将を懇請し快諾を得た。 その後世上の不審を避けるため本陣を大矢野と島原半島の中間の小島湯嶋 に移した。この嶋は周囲一里もなく、四方岩石にて船を係留する江潟も無 い絶好の場所である。 ・四郎神秘風説にて諸人帰伏せし事 高来(嶋原)と天草の多くの庄屋や年寄達は昼は家業を営むふりをし、夜 になると湯嶋に渡海して、四郎を昼は二階や納屋に隠し、夜に宗旨の務め を終えさせてから夜酒の座で人々に対面させ、四郎は習っためくらしの術 を披露したので人々は大いに四郎に帰伏した。	12名		
2021年6月23日 (水) 10:00~	金沢公会堂第一会議室	第二学習 島原の乱⑥ ・高来郡きりしたん吟味之事 家老が庄屋に領地の様子を尋ねるに、いずれの村も家業もせず、寺社の 墓参もせず、これはおかしい、ちまたでは天草に四郎と申す者様々の奇妙 をいたし定めて魔法を以って諸人をたぶらかし、きりしたんのすすめを なしていると答えた。それより一層宗旨改めを厳しくして旅人の出入りを 難しくし、これより往来手形を始めた。 ・意宅座頭長崎江立退し事付右衛門作きりしたんに用心セし事 意宅座頭は家老に尋ねられありのままに答えたら迷惑に及ぶ者もいたので とるものもとりあえず長崎へ逃げた。一方右衛門作は中国より帰国後家老 から3人扶持を貰い楽な暮しをしていたが、以前借米願いが叶わなかった こともあり四郎側につき、絵を描いて稼いでいた。 ・高来郡一揆蜂起の事 寛永14年(1637)十月廿一日、島原の領主の代官が有江有馬の両村に年貢 催促に来たところ、キリシタンが祈りの集会をしていた。その有様を見て 言語道断の奴らかなと打擲、捕えようとしたが村人いうこと聞かず、又村 人の数が多くなってきたので家老へ早飛脚を出した。家老は時を移さず手 勢足軽を派遣、首謀者を妻子共に引きたてた。他に同様の者がいないか探 していたら郷人が大勢集まってきた。そのうちの数人をたたいたところ、 数十人押し寄せ棒で打ちかかってきた。大勢に囲まれ刀を抜いて応戦した が、後から棒で殴られ代官林左衛門は殺されてしまった。	10名		

## 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.33

代表 柴崎幸治

### 独自コース 91 番 「神奈川県コース 8番 鷹取山・里のみち」(通算 166 回)

今回は、「関東ふれあいの道 神奈川県コース」の「8番 鷹取山・里のみち」を歩いた。本コースは田圃 や畑の中を歩き、鷹取山を超えて、鎌倉時代の豪族土屋氏にちなむ遺構や名刹等、郷の歴史と文化を辿るコースであり、市街と市外の入り混じった緑の比較的豊かな地帯を歩いた。

朝9時にJR二宮駅の改札口に集合し、駅南口のバス乗り場から平塚駅行のバスに乗り、起点である月京バス停へ。バス停から大磯町国府支所の前を通り、約10分の馬場(ばんば)公園で、当番の挨拶、準備体操をしてスタートした。公園より北へ向かい、神揃山(かみそろいやま)の前を通り、諏訪の下橋を渡り右に曲がり不動川沿いを上り、川を左(北)側へと別れると田園地帯が広がり、東海道新幹線のガードをくぐり、東の池、やがて民家と別れ、竹林の中の道へ、小田原厚木道路が頭上を通っている。やがて鷹取山の登りに入り、なだらかな雑木林の尾根道、タブやスダジイにおおわれた急な木段をハァーハァー登ると鷹取神社境内・鷹取山である。撮影ポイントの社殿前で写真を撮り、大休憩の後、ゴルフ場・畑の横の道を進むと表丹沢の山々が見渡せる路傍休息地に着く、ここで昼食。昼食後は妙圓寺(銭洗い弁天)へと向かい、寺内では弁天様を参拝したり、散策、コーヒータイム。妙圓寺からは神奈川大学(湘南ひらつかキャンパス)の前を通り、民家近くの道へ、やがて上り坂に、土屋城址、土屋一族の墓を巡り、大乗院、熊野神社へ、神社内には「オガタマノキ」なる樹木あり、初めて聞いた名前?。神社からは両側に民家が散在する長閑な道を通り、坂を下り、南平橋を渡ると、終点の南平橋バス停である。バスで秦野駅へ、秦野駅前で解散。

実施日:2021年4月15日(木) 天候:晴れ 歩行時間:約3時間 歩行距離約9km

参加者: 18名(男性 14名 女性 4名) コース所在地: 神奈川県 平塚市 大磯町 秦野市

交 通: 往路: 京急 金沢文庫 7:47 発 → 7:56 着 上大岡 地下鉄 8:04 発 → 8:14 着 戸塚 JR 8:20 発→

8:54 着 二宮駅 バス 二宮駅南口 9:10 発⇒9:20 着 月京バス停

復路: 南平橋バス停 14:20 発 ⇒ 14:33 着 小田急 秦野駅 14:37 ⇒ 海老名 相鉄 15:06 ⇒ 横浜京急 15:42 ⇒ 16:06 着 金沢文庫

コースと時間: 月京バス停 9:20 ⇒ 9:30 馬場公園[準備体操・挨拶] 9:40 ⇒ 10:00 東の池 ⇒ 10:10 登山□ ⇒ 10:40 鷹取山・鷹取神社(撮影 P) 11:00 ⇒ 11:40 路傍休息地[昼食] 12:10 ⇒ 12:40 妙圓寺[コーヒータイム] 13:15 ⇒ 13:30 土屋一族の墓 ⇒ 13:40 大乗院 ⇒ 13:50 熊野神社 14:00 ⇒ 14:15 南平橋バス停 14:34 小田急 秦野駅前[解散]

#### ご存じでしょうか! 「国府祭」とは?

国府祭(こくふさい・こうのまち)は、大磯町本郷の神揃山および大矢場(現在の馬場公園)で5月5日に行われる祭礼であり、平安時代に相模国の主要五神社を国府に近い柳田大明神に併せ祀って総社六所神社とした故事によるとされている。旧相模国の主要五社が参加し、5月5日の朝、一宮から五宮の各々で「発御祭(はつぎょさい)」が執り行われた後、神揃山へ向け神輿が出立する。神揃山に到着した五社の神輿は一宮から五宮まで以下の順で入山する。1.一宮:寒川神社、2.二宮:川匂(かわわ)神社、3.三宮:比々多神社、4.四宮:前鳥(さきとり)神社、5.五宮:平塚八幡宮。入山後、無事な着御の奉告と国家安泰・五穀豊穣を祈願する「五社祭典」が行われる。また、比々多神社の社人が小餅の詰まった俵を頭上に掲げて地に落とすことを繰り返し、破れた俵から小餅を取り出し、参集の人々に撒く「チマキ撒き」が行われ、この小餅を食べると病気をしないといわれている。この「チマキ撒き」とは別に、各神社の神輿の前で小餅入りの茅巻が付いたお札が頒布される。

(参考:観光パンフレット、Wikipedia)

いま桜東風丹沢山塊仰ぎ見る



撮影 P:鷹取山(鷹取神社社殿前)にて

#### 一 梲



妙圓寺にて

#### 独自コース 92 番 「神奈川県コース 9番 弘法大師と桜のみち」(通算 167 回)

今回は、5月例会の実施日20日、予備日21日がいずれも雨天ため、6月に延期した「関東ふれあいの道 神奈川県コース」の「9番 弘法大師と桜のみち」を歩いた。本コースは桜の名所である権現山、弘法山を経 て、旧矢倉沢道、吾妻山へと辿るハイギングコースで、比較的登り下りがあり、やや長めのコースを歩いた。 朝 9 時 30 分に小田急小田原線 秦野駅の改札口に集合し、駅北口のバス乗り場から平塚駅行のバスに乗 り、前回「8番鷹取山・里のみち」の終点、「9番弘法大師と桜のみち」の起点である南平橋バス停へ。バ スを降りてすぐ、田圃と民家が点在する道を健康(たてはや)神社に向かう。境内で当番の挨拶、続いて準備体 操を行い、スタート。すぐに東名高速の橋上橋、県道の歩道(連絡区間)を歩き、右に入り、畑、民家の間を抜 け、権現山の登りに入る。権現山の登り途中の白山神社で一休み、キウィ・フルーツの実がたわわのキウィ畑 を見ながら山道を少し、そして山腹の市道を行くと権現山の駐車場、そこから急な山道を登ると権現山、山頂 には2階建ての展望台があり、そこからは三浦・房総半島、関東平野、秦野・伊勢原等の小田急沿線の街、 富士山(今回は周りを雲に包まれた中途半端な富士山だった)が眺められた。権現山からは、今は紫陽花が綺麗 な桜並木のなだらかに下り、左手に樹々の間からの大山を見ながら、馬車道を弘法山に向かい、少し急な登り を登り切ると弘法山山頂である。山頂には鐘楼、大師堂(撮影 P)があり、ここで昼食とする。昼食後は山頂か ら山道を辿り、市道へ、しばらく歩くとやがて国道 246 号線へ出る。246 号線(この区間も連絡区間)を少し 上ると新善波トンネルである。トンネル手前で雨がパラつくが然程ではなく、トンネルを出ると雨はなく、ち ょっと先を急に曲がれば矢倉沢往還、この古道は適度な広さがあり、道も良く、歩き易かった。やがて吾妻山 への登りの分岐になり、その分岐を右に入り、ミカン畑の横を登り尾根へ、雑木林の中を通る吾妻山(休息所) である。ここで、休息とヒル点検、やはりヒルはくっ付いていた。5、6名からヒルを発見、駆除と大騒ぎ。 そこからはなだらかな山道を下ると住宅地に出る。住宅街を右左と何度か曲がりながら歩くと、バス通りに出 て、坪ノ内バス停に着く。このバス停が終点・今日のゴールである。終点の坪ノ内バス停で解散。バスで鶴巻 温泉駅へ、バスが駅に着いた時にまた雨がパラつくが、濡れることなく構内に。天気に恵まれた一日だった。

実施日:2021年6月17日(木) 天候:曇り時々晴れ歩行時間:約3時間30分歩行距離約9.4km参加者:15名(男性11名女性4名) コース所在地:神奈川県 秦野市 伊勢原市

交 通: 往路: 京急 金沢文庫 7:58 発 → 8:18 着 横浜 相鉄 8:25 発 → 8:55 着 海老名 小田急 9:06 発 → 9:26 着 秦野 バス 秦野駅北口 9:45 発 → 9:56 着 南平橋バス停

復路: 坪ノ内バス停 14:46 発 ⇒ 14:56 着 鶴巻温泉駅 小田急 鶴巻温泉 15:04 発 ⇒ 15:18 着 海老名 相鉄 15:24 ⇒ 15:50 着 横浜 京急 15:56 発 ⇒ 16:12 着 金沢文庫

コースと時間: 南平橋バス停 9:56 → 10:10 健速神社[挨拶・準備体操] 10:30 → 10:35 東名高速道峰 の上橋 → 10:40 白山神社 → 11:35 権現山 11:50 弘法山(撮影 P.) [昼食] 12:30 → 12:50 新善波トンネル→ 13:00 矢倉沢道入□ → 13:25 吾妻山分岐 13:45 吾妻山休息 所 14:00 → 14:30 坪ノ内バス停 [解散]

#### ご存じでしょうか! 「矢倉沢往還」とは?

矢倉沢往還は律令時代に駿河と相模を結ぶ東海道の本道にあたり、足柄道(路)と呼ばれ、万葉集の防人の歌にも登場することから、東国と畿内を結ぶ主要道であった。富士山の延暦噴火で一時通行不能となったが、回復、その後は鎌倉古道のひとつの湯坂道(箱根路)が開かれるまで官道として機能していた。江戸時代には東海道の脇往還として箱根関所の同等位の矢倉沢関所があった。また、裏街道として伊豆、沼津から足柄、秦野、厚木、荏田を経て、日常生活用の炭、わさび、干し魚、茶、それに秦野のたばこ等が馬の背で江戸に運ばれた。そして大山・阿夫利神社に詣でる道ということで大山街道の名もある。 (参考:観光看板、Wikipedia)

万緑や太師堂を入れシャッター切る 一 梲



撮影 P:弘法山(大師堂前)にて



矢倉沢道入口(国道 246 号横)にて

## 「懐かしの映画を観る会」 代表 鶴岡重典

- ●当会は例年、毎月2回、第2と第4の月曜日に金沢地区センターで定例の鑑賞会を実施しています。
- ●しかし、今年度(4 月以降)は、会場の金沢地区センターが新型コロナのワクチン会場に指定され、 定例会が実施できない状況となっています。
- ●8月9日、8月23日、9月13日の3回につきましては、夏休み期間中の「横浜市立大学の教室」 を借りることができましたので開催を予定しております。

次号 78 号の会報では従来のような鑑賞録をお届けできることを願っています。



抄録 NO.53

## 浮雲俳句会

代表 太田 耕蔵

## 146 回例会 令和3年4月25日

主宰はおかないものの北野イズムを踏襲して有季定型の詩、花鳥諷詠の理念をもとに伝統俳句を目指します。 主宰をおかないことで、天、地、人賞は止めて、選者として田中十九会員に毎回秀句3句を選んで頂き選評をお願いした。一方で、特選句は会員による選句で上位5句~7句程度を選び、選ばれた句の作者の自評を書添えることとした。尚、句会では会員全員による合評に重きを置き、会員相互の研鑚の場としています。

#### 十九選の秀句と選評

#### また一人滅りて狭間の畑を打つ 二 祥

静かで気張りや気取りとは全く無縁の表現ながら、現代の社会の機微をびしりと衝いて心を揺するものがあるのではないでしょうか。俳句が詩であることの証しのような句と言える一句であろうと思いました。「また一人減る」が様々なことを想像させます。山あいの畑に人間と自然との安らかな血の通い合いがあることを長い間事もなく受け入れて来ていたのに、今の時代そのようなことが出来なくなってきている。又一人減ってしまう時代になったが、畑を打ち続ける人がいる。

## 鶯の声に一歩が軽くなり

#### とも女

まさに、現在のコロナ禍の様子をズバリと詠まれた句であると思いました。特別の技巧を凝らすでもなく、大 袈裟な騒ぎを持ち込むでもなく、しかしこれはまさしくいまの日常の生の一面を、生のままで眼前化してみせて くれました。どうにもたまらない鬱陶しさの毎日から、何とか少しでも逃れたいと裏山の散歩に出たら、鶯が綺 麗な澄んだ声音を聞かせてくれた。大袈裟ではなく、それは本当に、天使の歌声に聞こえた。忽ち、身も心もか るくなった。(良かったね。)

## 野仏に翼を広げ山桜

#### とも女

「翼を広げ」という措辞のユニークさが、ある意味、この句の生命線なのかも知れません。桜の花盛りを「翼を広げ」と表現することの発想の鋭さにも感じ入るものがあるのは当然として、この措辞には、単なる眼前の一現象の描写を超えた意味が含まれているものと読みました。それは、動きのとれない野仏(のような人々)に対して、もっと広い空を目指して羽ばたきなさいよ、と呼びかけているのではないかという思いでした。

## 会員選の特選句と自評

野仏に翼を広げ山桜

とも女

晩春、友達3人で、群馬県の里村を旅した時のこと、大きな寺の墓地に、見事な山桜を見つけた。年代物であろうか、太い幹に長く伸ばした枝を広げていた。薄紅色の花と、赤みがかった若葉がマッチしていて、暫し見とれていた。墓地には、様々な年代の墓石が並んでいた。墓地の片隅に目をやると、不揃いの石仏が置かれており、中には、長い間、野ざらしにされていたせいか、体も顔も崩れかけている野仏もあった。きっと、村人が、寺に持ち寄って祀ったのであろう。石仏たちは、みな、山桜に庇護されているように思われた。

#### 切れ凧の自由の空の広さかな 十 九

「糸の切れた凧」は、通常負の意味で用いられている言葉である。コントロール出来ない、自制力が無いなどである。しかし、凧自身は、糸に繋がるだけの自分に、果して満足しているのだろうか、と考えてみた。もし、この大空を泳いでいる自分が、操り糸から離れられたらこの果てしない空の彼方へ自由に思う存分飛び回ることができるのにと、思ってはいないだろうかと。埒もない戯言かも知れないが、心の隅に、現在のコロナ自粛の鬱陶しさから、早く解放されたいとの思いがあったことも発想の一因であった。

#### 屋根いくつ越え来たりしや花吹雪 重 九

庭の青くなり始めた芝生に 2~3 片の桜の花びらがどこからともなく風に乗って飛んできた。近くの小学校の校庭の桜だろうか、小学校裏山の山桜だろうか、いくつの屋根を越えて我が庭に飛来したことよ、もう桜も散り始めたんだなあと思ったことです。

#### 散る桜鎮まりてなほ師の気配 和 女

主宰の北野先生がご逝去されてから2か月余り。その少し前に、道で先生にお会いしていましたので、なかなか実感がありませんでした。今でも、時々お住まいの前を通りかかりますが、その都度、大きな桜の木が目に留まります。「花鳥諷詠」の俳句の世界では、"花"といえば"桜の花"であると知りました。人々は早春から開花を心待ちにし、散りゆく風情を楽しみます。古くから、人の心の琴線に触れる"花"は、私達の潜在的な美意識に繋がっているのだと思います。この春も、先生はあの木の下で花の行方をご覧になっていたような気がします。

## チューリップ揺れて園児を招きをり あきえ

ある春の日、県立フラワーセンターを訪れました。うららかな春の日差しの中、シャクナゲやその他いろいろな花が咲いていましたが、ちょうどチューリップが満開でした。遠足でしょうか、園児たちが数多く訪れていました。どこまでも続くチューリップの花が春風に一斉に揺れていてまるで園児たちを「こちらへおいで」と呼んでいるように見えました。穏やかな春の一日の風景です。

## 147 回例会 令和 3 年 5 月 30 日

## 十九選の秀句と選評

## 五月山見下ろし舞ふやめをと鳶 重 九

一見して難しい表現も、技巧を凝らした措辞もなく淡々とした句です。しかし、これは安易な句ではないと思います。「五月山」の季語も光っています。その、生命力に満ちた若々しさの溢れる自然を(もしかしたら時代

#### 新緑や風運びゆく樹の鼓動

#### 和女

「樹の鼓動」の鋭い切り口が素敵です。新緑と言えば、波打つような新鮮さ・若々しさを連想しますが、そこに「樹の鼓動」を持ち込んだ感覚に、成る程と頷くばかりです。風の中に樹々の心音が聞こえるという心象風景が創造されています。これこそが、詩情というものではないでしょうか。ただ一つ勝手なことを言わせてもらえるなら、私個人としては、「運びゆく」ではなくて「風に聞こえる」ではどうかな、と考えてたりしています。 樹々の鼓動が遠ざかるのではなく、近づく印象です。

#### 梅雨寒やヒールの響く夜半の街

#### 春駒

これはまさしく、現在只今の社会を生で切り取った句なのであろうと思います。コロナ自粛でみんなが自由な行動が出来ず、鬱々としている状況を、直接にそのことに触れずにびしりと表現していると思います。雨もよいの些かに冷えた夜気の中を、一人の多分女性が歩いている。他に、人通りもなく、そのハイヒールの単調な音だけが、聞こえている。あの、夜の街の賑わいが懐かしい。何時まで、こんな自粛が続くのか。

#### 会員選の特選句と自評

#### 縦横に蟻の走りや無言劇

#### 国 眼

働きアリ達、兵隊アリ達が螺旋形やら渦巻線やらスパイラルしての壮大なマスゲーム。右サイドから老齢アリ達の登場。次に足跡フェロモンを辿って、子役アリ達の登場。いつも働き詰めだから、今日はご褒美の祝祭日かな。

## 吹き渡る横浜の三塔聖五月

## 二祥

「横浜三塔」をご存知でしょうか。横浜の関内・日本大通りには、昭和の初期、入港する外国人船員たちが、塔のある明治からの歴史的建造物三館「神奈川県本庁舎」「横浜税関」「開港記念会館」をトランプになぞらえ、それぞれキング、クイーン、ジャックの塔と名付けた。古くから人々に愛されている。小生はその一つ開港記念館には年に3~4回出向いている。今回は風薫る五月、大さん橋から見た存在感のある三塔をそのままシンプルに、鮮やかにかつリズム良く詠んだつもりですがどうかなあ・・・・・。

## 薔薇の園肺の底まで香を満たし あきえ

薔薇は花の女王ともいわれ何処の薔薇も美しく、世界中に4万種以上あるようです。横浜みなとの見える丘のローズガーデンを訪れた時、香りの高い薔薇を集めたアーチを 通りました。まさに薔薇の香りに全身包まれ、深呼吸を何度もして肺の奥底まで香りを届け、出来る事ならこのまま閉じ込めておきたいと思いました。この幸せなひと時を詠みました。

#### おほでまり闇夜に奏づセレナーデ

## 勇 平

大輪の真白なおほでまりは、昼間よりも闇夜がよく似合う。歳時記によれば「繍毬花」とあるが、おほでまりと呼ぶ方が好き。なぜか上品さと気弱さを感じる。チャイコフスキーの甘美な小夜曲、弦楽セレナーデがぴったりである。

#### 夕映えの帰帆に迫る卯波かな

#### 和女

初夏は若葉の緑と眩しい光の季節です。ただ、季節の変わり目のため強い風が吹き、海では卯波といわれる白波の立つことがあります。卯の花が風になびくさまから、卯波とよばれているようです。低気圧通過により、時には"メイ・ストーム"という暴風雨になることも。天気の良いある日、マリーナから出航した夫が、白波が立って来たので戻ってきたことがありました。普段から事前に海の天候をチェックしていましたが・・・海の仲間のあいだでは時期を問わず、白波が立つことを「うさぎが飛ぶ」というそうです。

## 車庫奥の同居せがむや燕の子

#### 重九

近頃燕の飛び交うのを見ることが殆どなくなった。寺前神社の前の通りを歩いていたとき、2 台入る大きな 車庫の奥から5羽の燕の子が身を乗り出して我を引き留めるようにピーピーと鳴いていた。まるで私たちと同居しませんかとせがんでいるように感じ、嬉しくなってしばらく立ち止まって見ていました。

#### 泡沫や遠き指切り初蛍

#### 春駒

幼い頃の約束を誰でも覚えているとは限らないですね。やわらかい光が蛍だと気付き遠い子供の頃の約束を思い出した。永い時間が流れ記憶の奥底に眠っていた約束。相手も忘れているだろうか・・・遠い約束が蛍の 儚さに似ているような気がしました。

## 立葵美人姉妹の背くらべ

#### 勇 平

初夏のころ、散歩コースのひとつ野島運河沿いに立葵がすっくすっくと直立し、咲き競っている。薄紅色、紫、 濃紅、白など花の色は多彩である。高さは2メートルを超すものもありあたかも美人姉妹が背くらべしているようだ。これら立葵は鬱陶しい梅雨時の一服の清涼剤

## 148回例会 令和3年6月27日

## 十九選の秀句と選評

## 泣き寝入る子の涙あと遠花火

## 春駒

説明や飾りの言葉がなくても、情景や心情が充分に伝わること、そして、そのことが読者の心を温かく包み込んでくれることを、はっきりと解らせてくれる句だと思います。「泣き寝入りした子の涙あと」の呼び起こす様々な親子愛。「遠花火」が、読者の過ごしてきた長い時間とも共鳴し、誰の心にもある親子愛への思い入れを、改めて呼び起こしてくれるのではないでしょうか。

## 名をかへよ凜と気高き鉄砲百合

#### 和女

上五に、いきなり命令形を置くという、大胆な作りに、作者の新鮮な挑戦の心を見て、先ず惹かれました。あまり見かけないのですが、よく知られている句は、芭蕉の「塚も動け」や、汀女の「外にも出でよ」などでしょ

うか。ともあれ、「お前の凜とした美しさは、鉄砲などという名にふさわしくないよ」と言っています。私は、この句は、それだけの句ではなく、「人間よ、鉄砲などは捨てよ」と、平和を願っている句であると読ませて頂きました。

#### 短夜や色取り空ろネオン川

#### 二祥

コロナ禍の現在を切り取った、社会性ある一句だと思います。「ネオン川」に都市を象徴させた手法も冴えています。そのネオンの街も、いまは色取りが空ろであると。外出を制限され、人通りも稀な繁華街のネオンも、却って、空ろに見えるものでしょう。そのネオン川の下で、営業時間のかき入れ時をカットされている人達、酒類の販売が出来ない人達などの嘆きが聞こえます。一日も早く、平穏な日常を取り戻したいものです。

### 会員選の特選句と自評

#### 路地奥の軒向き合ふて吊忍

#### 二祥

「吊忍」とは江戸時代から始まり昭和中期位?まで、夏季、町屋で涼をとる為シダを束ね「しのぶ玉」を作り軒下に下げたものを云う。鑑賞用も兼ねて広がった日本の夏を彩る風物詩。先日、富岡界隈を散歩していたら、軒下にシダを丸めて吊し、塀の上には観葉植物を置いているお宅に出会った。最近目にすることがない吊忍らしい。現役の頃、東京・白金は既に十分高級セレブの街でしたが、一歩踏み入れると軒の向き合う路地が残っており、葉緑一杯の吊忍があった風情を懐かしく思い出した。今も見ることができるだろうか。

## かたむり不要不急の旅にでる

#### 勇 平

このところ人間さまの日常を封じ込めようと、コロナウイルスは変幻自在である。こんな重苦しい空気の中、おうち時間とかテレワークとか新しい生活様式を強いられている。しかし、蝸牛の世界ではコロナ禍など我関せず、無縁である。これといって急ぐ用もないので、マイペースを決め込んでお出掛けするとしよう。

#### 山門に入れば浄土や時鳥

## 重九

鎌倉の深い森を背にした禅寺の山門をくぐり寺域に入ると下界とかけ離れたほとけの世界、身も心も洗われる心地がする。折から姿は見えないが、甲高い独特の時鳥の鳴き声が聞こえ、まるで別世界に入り込んだ感がしたものである。ホトトギスはヒヨドリよりわずかに大きく、5月中頃インド、中国南部から中国北部、朝鮮半島、日本まで渡って来て主にウグイスに拓卵し、秋、南へ去って行く。 又、特徴的な鳴き声で、雄の鳴き声は「ホットトギス」「特許許可局」「てっぺんかけたか」などとも聞き取れる。

## 蚊遣焚く煙の中に父の影

## とも女

今年は、例年より早く蚊が発生し、我が家は、6月から、渦巻きの蚊取り線香を焚いています。わたしは、0型で、蚊に刺されやすい体質だからです。振り返れば、子供時代は、夏になると、蚊帳を吊ったり、蚊取り線香を焚いたりする事は、習慣になっていました。生前、老いた父が、ごつごつの太い指で、蚊取り線香にマッチで火をつけ、素焼きの蚊取り豚の中に入れ、縁側に置く姿が忘れられません。父の仕事だったからです。

## 七十路の独り居飾る古簾

## 二 幸

まさに自分自身の状況を詠んだものです。七十歳を超えるともう何も飾るものがない、必要ない。そして独り住まいであればなおさらである。ただ必要なのは夏が来れば、暑さ除けの日除けを軒にぶら下げる。それも使い古した簾であることを詠みました。

## 万緑に浸り自粛の身をほぐす 十 九

コロナ自粛が1年半にもなった。外出制限で、友人にも会えず、楽しみにしていた会合も中止になり、身も心も鬱々としてくる。幸いなことに、住宅の周りは緑が多い。一歩、外へ出れば林の中。深くはないが、数キロにも及ぶ緑道も整備されている。緑は有り難い。ふらりと、その中に入り、深呼吸する。体中に、緑のエキスが染みわたり、生き返るような気になってくる。

#### 暮れ泥む古道の四葩風青し

#### とも女

金沢八景の高台に、金龍禅院、九覧亭があります。九覧亭は平成7年に、市登録文化財に指定されました。 古道に沿って九覧亭の高い崖が続いており、その斜面に、紫陽花が滝のように咲いております。見事です。夕 方になると薄暗くなる細い古道ですが、紫陽花の咲く頃は、白夜のように、青白い光が射しています。

## パソコンを使いこなす会 実施報告【5】 2021年4月~6月

#### 2021 年度 第 1 回分科会

▶ 日時:4月13日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容: Windows 講座―フォルダーのカスタマイズ、ブラウザと検索サイト

1. フォルダーの名前に記号を付ける

2. フォルダーのアイコン表示を変える

3. ブラウザと検索サイト

▶ 参加者:18名+Z2名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会\_2021年4月13日\_テキスト

この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

## 2021年度第2回分科会

▶ 日時:2021年4月20日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容: Windows 講座 一高速化一

1. バックグラウンドプログラムの無効化

2. 自動起動するプログラムを減らす

3. 電源オプションの最適化

4. GPU 設定の無効化

【Tips】Edge の便利な使い方

このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

▶ 参加者:14名+Z7名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会 2021年4月20日 テキスト

#### 2021年度第3回分科会

▶ 日時:5月11日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容: Word 講座 -Word を使いこなす -

1. 画面表示の操作

2. 文字入力の小技

3. 範囲を選択

▶ 参加者: 17 名+Z3 名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会\_2021年5月11日\_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み 込むと、テキストを見ることが出来ます。

#### 2021 年度 第 4 回分科会

▶ 日時:5月18日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

内容: Windows 講座 ーキーボード操作ー

1. タスクバー

2. キーボードで領域選択

3. ショートカットキー

4. ウィンドウの並べ替え

▶ 参加者: 15 名+Z5 名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会\_2021年5月18日\_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

#### 2021 年度 第5 回分科会

▶ 日時:6月8日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

内容: Word 講座 一書式設定・図形一

1. ページ設定

2. フォント・サイズを変更する

3. 中央揃えに変える

4. 筒条書きに設定

5. インデントを設定する

6. 図形の作成

7. 文字に効果を付ける

▶ 参加者: 18 名+Z4 名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会\_2021年6月8日\_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

#### 2021年度第6回分科会

▶ 日時:6月15日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容: Internet 講座 ースパム広告・詐欺メッセージ ー

1. 広告宣伝メール

2. 詐欺警告、偽装サイト

3. 架空請求メール

4. フィッシング詐欺

5. ワンクリック詐欺

6. なりすましメール

7. ウイルスメール

8. 偽警告サイト

9. ランサムウェア

10.マルウェア

11.お金儲けのメール

▶ 参加者: 18 名+Z1 名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会\_2021年6月15日\_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。



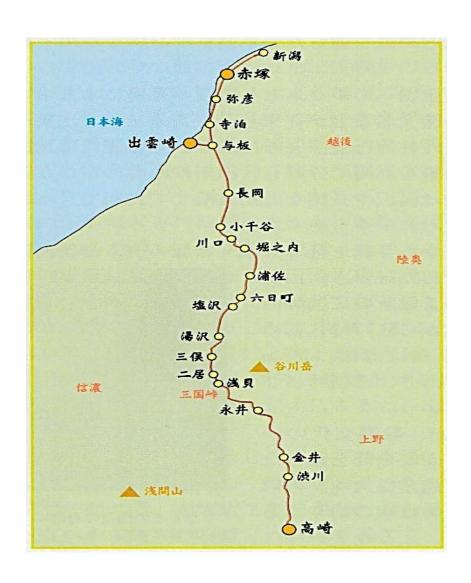
この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、 学習会風景の動画を見ることが出来ます。

## 江戸時代の五街道を歩く(14)

古文書を読む会 代表 真田 雅行

(付録)

# 三国街道紀行



これまで13回にわたり掲載してきた私の紀行文「江戸時代の五街道を歩く」は前回をもって終了致しました。

最終になりますが、群馬県と新潟県の県境にある三国峠越えを「附録」として掲載します。 これは私の故郷の新潟市への旅を綴ったものです。

長い間ありがとうございました。

赤塚の実家にある古文書の中に、明治の初めに赤塚から東京まで歩いた人の日記を 見つけ、その中に途中立ち寄った当時の宿場が記載されていた。

ちょうど東海道五十三次の旧街道を歩いた直後だったので、こんどはこの日記のルートを逆にして東京から赤塚まで歩いて、当時の旅を実感してみようと思い立ち平成16年春日本橋を出発した。なお旅は何回かに分け、日帰りや1~3泊とし、名所・旧跡などに立ち寄ったので、赤塚まで15日かかった。歩くだけならば当時の人ならおよそ7日あれば十分だったであろう。

#### 日記のルート

赤塚―与板―長岡―妙見―川口―堀之内―浦佐―五日町―六日町―塩沢―関―湯沢―三俣―二居―浅貝―(三国峠越え)―永井―相俣―中山―横堀―金井―渋川―金子―高崎―倉賀野―新町―本庄―深谷―熊谷―鴻巣―桶川―上尾―大宮―浦和―蕨―板橋―日本橋(日本橋~高崎間は中山道と同じ。現在の国道17号線沿)※赤塚~与板間はどの道を通ったか不明。

さて三国街道は佐渡金山へのルートとして江戸幕府により重要視され、また佐渡奉 行や参勤交代の越後の諸大名などが往来し、五街道に次ぐ主要な脇往還として、北国 街道・会津通りと共に「佐渡三道」と呼ばれた。上杉謙信は10回以上往復している。

その三国街道は中山道を高崎で分岐し、渋川や永井の宿など群馬県側で11宿、三国 峠を越えて、新潟県側は湯沢や長岡など出雲崎まで15宿で日本海に出たが、大河津か ら寺泊へ出て佐渡へ渡るルートもあった。

ここでは三国峠越えから与板を経て寺泊~赤塚ルートの新潟県側だけに限定した。

高崎から三国峠まで約75km歩き、山奥深い永井宿からいよいよ難所の三国峠旧道が始まる。なお中世から江戸時代初め頃までは、越後〜関東間は海抜1,488mの清水峠越えが中心であり、三国峠よりはるかに険しかったという。

三国峠は海抜1,244m、参勤交代の一行をはじめ多くの人々がこの峠を越えたが、峠上の「三国峠を越えた人々」の碑に記されている主な人物は次の通りである。



三国峠山頂 うしろの横長の石碑に「三国峠を越えた人々」 が刻まれている。

 坂上田村麻呂
 弘法大師
 上杉謙信

 越後九藩藩主
 川路聖謨(佐渡奉行)小栗上野介

 川村清兵衛(新潟奉行)伊能忠敬
 河井継之助

 尾崎行雄
 原 敬
 鈴木牧之

 川端康成
 直木三十五
 北原白秋

船橋聖一

さて峠越えは群馬県〜峠上までが7kmで4時間、峠上〜新潟県国道17号線までが約1kmで40分、新潟側からの登りが急だが、峠上からは長い下りで楽なため、ハイキングは新潟側からが多いというが、今回は逆コースとなった。案の定群馬側の登り道はつづら折りで、登り坂の連続、その上前日の強風と大雨で木や枝が道を塞ぎ、落葉が道を覆い、歩きにくかった。途中飲食物はなかったので昼食

与謝野鉄幹・晶子



三国峠越え途中にある大般若塚

抜きとなり、結局国道へ出るまでに7時間を要したが、途中の妖怪変化を封じたという大般若塚、慶応4年の戊辰戦争の前哨戦だった三国戦争の古戦場跡、坂上田村麻呂の血縁者・田村越後守が営んだ三坂茶屋跡、元文5年(1740)雪崩で遭難した長岡藩士7人の墓、峠上の三坂三社神社などで休息がてら歴史を偲ぶことができた。

強行日程と空腹で元気を失いかけた矢先、新潟県最初の「浅貝宿」で立派な宿「本陣」を見つけて泊めてもらった。浅貝は山間谷間の三国三宿(浅貝・二居・三俣)の一つで、温泉もあった。

この三宿は助郷がない伝馬稼ぎ専門宿だったから、参勤交代の大名通過の際は、峠越えの人馬は湯沢で調達の必要があったから大変だったであろう。

翌朝、左に苗場スキー場を見ながら20km下り、湯沢宿に着いた時は午後になっていて、更に六日町まではきついので、今回はここで打ち切りにした。

日本橋~湯沢間は210kmなのでちょうど三分の二踏破したことになる。

さて七月中旬、昭和9年に川端康成が島村と駒子を主人公に書いた小説『雪国』の「雪国館」を見学して湯沢をスタートし、郊外の魚野川べりに出たら集中豪雨のため、濁流がごうごう音をたてていた。携帯ラジオによると、上越線は長岡あたりで不通になっているという。

今日は浦佐まで30km歩く。途中「魚沼こしひかり」の本場・塩沢に入り、北越雪譜の作者・鈴木牧之の長恩寺に立寄る。この一帯は雨のせいか、たんぽはますます青味が増して見え、ちょうど子供の頃、赤塚駅まで広がる一面の田園風景を思い出した。

景色は良いが単調な道を歩き続け、石打、六日町を過ぎて、夕刻浦佐の「山城屋旅館」に飛び込みで泊めてもらった。スキーのシーズン・オフで空いていた。

浦佐での見ものは「普光寺」(毘沙門堂)であろう。日光東照宮の陽明門のモデルとされる桜門は確かに陽明門そっくりで、天井には天保2年(1831)の谷文晁の傑作双竜が描かれている。

境内はものさびた感じで、多門天王や聖徳太子堂があり、日本三大奇祭の裸押合祭が行われ、その際に使われる大きな蝋燭がいくつも並んでいた。

ついでながら、赤塚の実家の古文書の中に、ここの僧侶・賢俊が突然姿をくらまして江戸へ出、新しい寺を創建したり、門徒の中にキリスト教徒の疑いがあるのを見逃したりしたことなどが出雲崎の御役所に報告されている。当時蒲原郡、三島郡、魚沼郡いずれも管轄が出雲崎の代官所であった(赤塚は文化12年〔1815〕に石瀬から出雲崎に代官所が変更された)。

小出の円福寺は田園地帯の小高い丘に立つ。奈良時代に北越鎮護のために創建されたといわれるが私が興味を持ったのは、堂宇横にある隠れキリシタンが信仰した石地 蔵菩薩で、右手に持つ杖の上に十字架がある。金堂が庭の中にあるのも珍しい。

街道は堀之内あたりから左にカーブして小千谷に向かうが、歩き疲れて何度か休憩 し、足にマメをでかして夕刻到着したが、信濃川(魚野川は川口で合流して信濃川に なる)は豪雨で増水し、各地で水害が発生していた。

急いで小千谷名物の錦鯉サンプラザとあかし縮みの織物工房を見学した。

後日談になるが、それから暫くして、近くの山古志村周辺で大地震が発生し、小千谷も大打撃を受けた。天災は忘れた頃にやって来る、とは正に格言である。

翌日、大きなダムの妙見堰に至り、その昔船旅の往来で賑わった当時を偲んだ後、宮内を通過し長岡着。この町は戊辰戦争と第二次世界大戦で二度にわたり壊滅的打撃を受けたが、江戸初期に初代藩主・牧野忠成以来「常在戦場」を家訓とした長岡藩の運命を背負った町である。

今の長岡駅あたりに長岡城があって、駅前の広場に本丸跡の碑が、見本の三尺玉花火と打揚筒と共にある。長岡についての私の関心は、やはり河井継之助であり、山本五十六であり、小林虎三郎である。

言うまでもなく継之助は、幕末の戊辰戦争で会津藩と共に官軍と戦った長岡藩の家 老であり、敗れて、会津へ退去の途中会津で戦死している。彼の邸宅は戊辰戦争で焼 失し、その後再建されたが老朽したため取壊され、今回訪れた時は、庭だけが辛うじ て残されていた。

山本五十六は、第二次世界大戦で連合艦隊司令長官・元帥としてパプアニューギニアのブーゲンビル島上空で打ち落とされ、戦死、彼が乗っていた飛行機の左翼部分が「山本五十六記念館」に展示されていた。

小林虎三郎は、戊辰戦争で荒廃した長岡藩に、支藩の三根山藩が見舞として米百俵を送ったが、大参事(副知事のようなもの)として、その米を藩士に分与せず売却して学校建設に使った。この米百俵の美談は、山本有三の戯曲で有名になったが、米百俵之碑が、市の中心街に立てられている。

長岡の中心街を抜けて808mの蔵王橋を渡ると、はるか彼方に弥彦山と角田山が見えてきた。

これから与板を経て和島から寺泊へ向かう。今日は暑くて歩くのがきつい。

しかし、目の前の弥彦角田山に勇気づけられて6時間かかり、無事寺泊に到着、アメ横はずれの民宿に泊めてもらった。さすがに魚料理は美味だった。

さて7月31日、晴、朝一番のカーフェリーが佐渡に向け出航するのを横目で見ながら店が閉まったアメ横を通り、大河津分水、野積橋を渡り、快晴下のシーサイドラインの風景を久しぶりで愛でながら、浦浜、間瀬、五ヶ浜、赤い橋の浦浜大橋から角田浜を過ぎて越前浜から赤塚に入ると、見慣れたタバコ畑、あちこちで水をまくスプリンクラーの中を抜けスポーツセンター(名が変わったらしい)横から旦那様と旧石黒庄屋屋敷跡の間の道から本町に出て、大慈寺から赤塚神社前で参拝し、無事実家にたどり着いたのは午後四時、シャツや帽子などに汗が噴き出し、襟が乾いて塩で白くなっていた。

ともあれ日本橋~赤塚間約330km(寄り道分を除く)、当初の古文書ルートと多少ずれたかも知れないが、完全踏破できたことは大きな喜びであった。

## 行事予定

#### 2021年9月~2021年11月の予定

注:表中の「 CC 」は、「 地区センター 」の略

	9月	10月	11月
学習会	9月11日(日)市大力メリアホ 13:30~16:00 【横須賀浦賀に帰ってきた引揚民】 防衛大学校名誉教授田中宏巳氏	10月8日(金)長浜ホール他 9:50~14:00 探訪】 長浜検疫所の遺構を訪ねる】	11月13日(土) 横浜市立大学 本校舎304教室 9:30~12:30 【「曽我物語」と刀剣説話】 大妻女子大学文学部教授小井土守敏氏
寺社を巡る会	9月2日(木)10:00 集合:京急富岡駅 テーマ:旧海岸線の道 訪問先:二松庵(庭園見学)、井上 馨別邸跡、富岡八幡宮ほか	10月7日(木)10:00 集合:京急逗子葉山駅 テーマ:逗子・葉山の寺社 訪問先:亀岡八幡宮、熊野神社、久 木神社、妙光寺ほか	11月4日(木)10:00 集合: JR鎌倉駅西口時計台広場 テーマ: 大町から二階堂のお地蔵様 訪問先:延命寺、安養院、花咲地蔵、 宝戒寺、来迎寺ほか
古文書を 読む会	9月9日(木)10時~12時 場所:金沢公会堂第二会議室 テーマ:幕末志士の手紙⑫ 9月22日(水)10時~12時 場所:金沢公会堂第二会議室 テーマ:島原の乱⑨	10月14日(木)10時~12時 場所:未定 テーマ:幕末志士の手紙③ 10月28日(木)10時~12時 場所:未定 テーマ:島原の乱⑩	11月11日(木)10時~12時 場所:未定 テーマ:幕末志士の手紙(4) 11月25日(木)10時~12時 場所:未定 テーマ:島原の乱(1)
ふれあい の道 歩こう会	9月16日(木) 予備日17日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 11番:順礼峠のみち 神奈川県 伊勢原市 厚木市	10月21日(木) 予備日22日(金) 関東ふれあいの道 神奈川県コース 12番: 丹沢山塊東辺のみち 神奈川県 清川村 愛川村	11月18日(木)予備日19日(金) 竹の寺から子ノ権現 埼玉県 飯能市
懐かしの 映画を 観る会	9月13日(月)横浜市大 12:15~ それでもボクはやってない 9月27日(月)金沢CC 12:15~ 情婦	10月11日(月)金沢CC 12:15〜 パラサイト半地下の家族 10月25日(月)金沢CC 12:15〜 蒲田行進曲	11月8日(月)金沢CC 12:15~ グリーンブック 11月22日(月)金沢CC 12:15~ 陽はまた昇る
浮雲 俳句会	9月26日(日)10:00~ 第151回例会 青嵐かなざわ テーマ 未定	10月31日(日) 10:00~ 第152回例会 吟行会・八景島 会場 シーパラダイスイン	11月28日(日) 10:00~ 第153回例会 青嵐かなざわ テーマ 未定
パ ソ コ ン を使い こなす会	9月14日(火) 未 定 その他講座 一 動画編集(フォト)ー 9月21日(火) 未 定 Windows 講座 ー Driver の更新 一	10月12日(火) 未 定 EXCEL 講座 - WORD から EXCEL へ - 10月19日(火) 未 定 EXCEL 講座 - 万年カレンダーの作成 -	11月9日(火) 未 定 Windows 講座 - Windows 設定 - 11月16日(火) 未 定 スマホ講座 - LINE -

#### 連絡先

- ・学習会 080-6755-1473(江口)・古文書を読む会 784-4900(真田)・浮雲俳句会 783-0278(太田)
- ・ふれあいの道歩こう会 790-0128(柴崎)
- ・懐かしの映画を観る会 080-5172-6151(鶴岡)
- ・寺社を巡る会 090-3535-8639(金久保)
- ・パソコンを使いこなす会 090-2539-8202(相川)

編集後記 何がそんなに忙しいのか、近年、やたらと省略語が目立つ。そう	発 行 日	2021年8月20日
でなくても、カタカナ語の氾濫についてゆけず、四苦八苦しているのに、何 故、これ程までに、言葉の省略・短縮が巾をきかしているのか。そしてそれ	発 行 月	年4回発行(2、5、8、11月)
を、現代は当然のことのように容認して、誰も苦情を申し立てないのか。老人	発 行 者	金沢区生涯学習"わ"の会
共には、到底理解し難いことではある。   そんな中で、気にしていることがある。いまや、世界の寵児(?)である	編集長	鶴岡重典
「新型コロナウィールス」という長い呼び名を、誰が、何時になったら短縮してみせてくれるのか。どんな短縮語にしてみせるのかと、ずっと期待しているのだが、未だに長いままである。 こんな話、会報のテーマではないか。 (田中徳明)	編集委員	田中 徳明 千々木 雅也 佐藤 和弘 松崎 寛 熊谷 信雄 橘 博章 斧原 良一 山腰 策次郎